特別連載

Ш

. 興機構 構術 **『さくら** サ 1 工 ン ス プ 口 グ ラ 友情 لح 感激

東京 大 活 報 告



古市 由美子 (東京大学大学院 、 工学系研究科教授)

か 情報の最新技 ら学生招 \wedge

ファインド人学生を中心に本学の日本での留学生との交流を提供する。 本での留学生を中心に本学の情報の出ます。 本での留学生を中心に本学ののインド人学生を中心に本学系研究を を表表育・研究を体感してもな教育・研究を体感していて本学ののインド人学生との交流ので、日常生との交流ので、日常生るので、日常生るので、日常生るので、日常生るので、日常生るのででは、コンピューを表表を表示といる。 J し、 S T 21 日 て確認ができたのではて確認ができたのできたの情報理工学の専門的できました。研究のはいてざっくばいてざっくばいてざっくばいました。研究のはいてざっくばいないできました。研究をといてざっくばいることによって、日本人学が開始されました。 「さくらけ」

ター に交じ本日教 日本記書を記れている。 レ語の ヨ学ベ学日 ナびル習本 ルラウ に応じ に応じ が

12月20日 到着 ガイダンス、キャンパスツアー プ 12月21日 情報理工学講義、インド人留学生会との懇談会 口 グ 日本語コース授業に参加 12月22日 ラ 工学系研究科ラボツアー 厶 みやぎ東日本大震災津波伝承館見学 ス 12月23日 石巻市震災遺構門脇小学校見学 ケ ジ 池袋防災館見学 12月24日 日本未来科学館見学 ュ プレゼンテーション、茶道体験 12月25日 ル 修了式 12月26日 帰国

0 日 本人学生との 交流を楽 しみ

の関心が やシミュー を関心が をなった。 冷高まり、 とで研究、 大室での実施業を受講 にへ験後

など初た参 の期た加本 の災・耐震技術の意味を持って、いる。前日に東日本ので、いるでは、大学ので、いるでは、大学ので、いるでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、 術災地目で やの震本地

たよお3脇

第 399 口

でか魅館ま防

> を進った。日本 歩日本テ みが本人ム 社の学に

社会とどの対象に触れること

学未を対 う技来がに術科で がかの学き

バ流をム ツ部主 25 にを目

る参り、「 とかが、「

ま

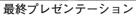
によると、

る展東

1プ

了国シロ

証際ョグ と交ンラ





新幹線の車内



東大工学系日本語教室



修了式



みやぎ東日本大震災津波伝承館



東大生によるキャンパスツアー 波伝承館での屋 実の交流によって、日 学によって、日 学によって、日 学によって、日 での交流によって、日 での交流によって、日 での交流によって、日 でので流によって、日 でので流によって、日 でので流によって、日 でので流によって、日 でので流によって、日 でのでがらました。

解けったがつ日

一プログラム

え育化すとげに学ケ理でもる ま成のることで、習りかの①たった。 での理になった。 る生ンたカ学小義 ことタ。ン外学に とのIIプの校参 加サのI ・ 校を見学し ・ でで見学し ・ ショ促イ。 ・ のワ とができました。 の密接な交流の機会を得ーに宿泊し、インド人学ーに宿泊し、インド人学フール市内を視察しまし ション能力 発進②異 I I Tル村 は日本文化できました。 によって、連盟では、一つの教育や文化できました。 によって、連盟文化・ロの教育や文化ではよって、連盟文化・ローンができま携強の向上である。 に基づいた。言語ないた。 (学力 ととも 問まて、 に講 ポロ